



本校では、「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かであるとともに、人権感覚に優れ、力強く未来を切り拓いていく実践力のある児童を育てる。」を教育目標に掲げ、「礼儀正しく、思いやりのある子ども」、「よく考え、よく学ぶ子ども」、「健康で、たくましい子ども」の育成をめざして教育活動を展開しています。また、その一端を各種の学校行事、学年だより、ホームページなどを通じて紹介させていただいているところです。

1月末から3月にかけて、児童及び保護者、教職員、並びに学校評議員を対象として実施いたしました本校の教育活動に対する学校評価の結果及び改善策等につきまして、ご報告いたします。

◆学校評価はなぜ必要か

- 『児童がより良い学校生活を送れるよう学校運営の改善と発展をめざす』ために実施するものです。
- 学校としてめざすべき重点目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等を評価することにより、組織的・継続的に学校運営を改善していきます。

◆本年度の学校評価の進め方

○ 重点目標の達成状況や達成に向けた取組の状況を把握・整理し、これまで進めてきた教育活動その他の学校運営に関する取組が適切かどうかを教職員により自己評価します。また、その結果を踏まえた今後の改善策を検討します。



- 学校評価を実施するために、児童、保護者を対象として、意見や要望を聞くために、アンケートを実施しその結果を活用します。(1月中旬から下旬に実施)
- 児童、保護者を対象としたアンケートは、取組の達成度と工夫・改善の要不要を判断するために各項目を指標値化し、その指標値をもとに、4段階で評価を行いました。また、過去2年間との比較も行いました。各アンケートの結果につきましては学校ホームページに掲載いたします。
- 3月に、学校評議員による「学校関係者評価」を書面にて実施いたします。
- 学校における自己評価(教職員自己評価)と外部アンケート結果をもとにして、改善方法の取りまとめを行い、報告書を作成いたしました。
- 報告書は、美馬市教育委員会に報告をするとともに、保護者の皆様には学校だより(今回の学校だより)で、地域の方々にはホームページ上にて、分かりやすい形で公表します。
- 令和4年度の学校教育目標や重点目標の設定や具体的な取組へ反映させます。



◆学校評価アンケート結果の指標値化

手順

- (1) 最も肯定的な評価であるAを100ポイント、最も否定的な評価であるDを0ポイントとして、ポイント化します。すると中間的な評価であるBは100ポイントの2/3のポイント、Cは100ポイントの1/3のポイントとなるので、各評価のポイントは、次のようになります。

A=100ポイント B=66.7ポイント C=33.3ポイント D=0ポイント

※ 最も肯定的な評価を満点として、100点満点でそれぞれの評価を点数化したことと同じ意味です。

- (2) 各項目ごとに、回答者全員の評価のポイントの平均を算出し、それをその項目の指標値とします。(小数第二位を四捨五入)

$$(Aの個数 \times 100 + Bの個数 \times 2/3 \times 100 + Cの個数 \times 1/3 \times 100) \div (A+B+C+D)$$

- (3) それぞれの項目について、指標値をもとに、4段階で評価します。

評価	指標値	判断
A	73.3以上	とてもよく取組ができています。
B	66.7以上 73.3未満	ほぼ取組ができています。
C	50 以上 66.7未満	工夫・改善が望まれる。
D	50 未満	改善が必要である。



※ 取組に対する達成度を各自が認識し、工夫・改善の必要性を判断した上で、次の取組につなげていくことを目的にしています。大切なのは、改善が必要であると判断された項目をそのまま放置せず、何らかの改善策を考え、実施していくことです。



児童数 144名
 保護者回答数 124回答
 からの回答をいただきまとめました。
 自由記述では、厳しいご意見もいただいておりますが、学校の取組の点検に活用させていただくとともに、できることから学校運営に反映させていきたいと考えております。アンケートへのご協力ありがとうございました。

※ 児童や保護者、教職員のアンケート結果、並びに評価結果及び今後の改善策等の詳細については、学校ホームページに掲載いたします。

裏面に、「令和3年度 学校評価の結果 課題と改善策」をまとめています。是非ご覧ください。

今後も保護者の皆様のご意見に真摯に耳を傾けてまいりますので、岩倉小学校並びに子ども達を温かく見守っていただき、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

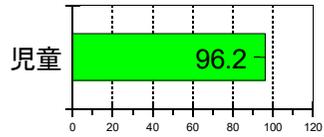


※自己評価 A…とてもよく取り組めている B…ほぼ取り組めている
C…工夫・改善が望まれる D…改善が必要である

「確かな学力」の育成

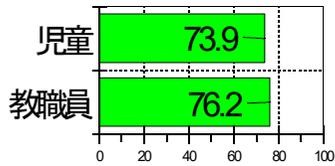
わかる授業

わかる授業の評価

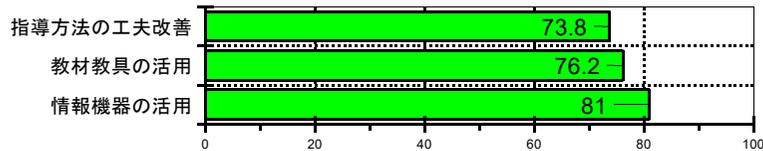


基礎・基本の定着

基礎基本定着の取組の評価



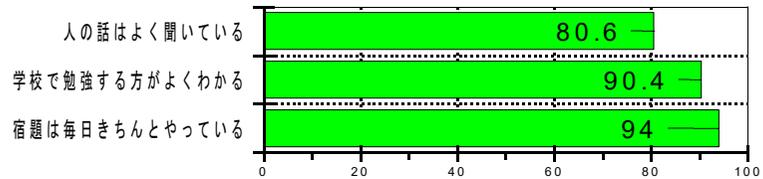
指導方法の工夫改善



- 学校全体で育てたい力を明確にし、ねらいの達成に向けた言語活動の充実を計り、児童が主体的に学ぶための授業展開に努めます。
- 情報機器や教材・教具を効果的に活用したり、具体的な操作学習活動を通して体験的に理解させたりする等、楽しく学べて分かりやすい授業展開につとめます。
- タブレット等のICT機器を積極的に活用し、自分の考えを分かりやすく表現したり、児童相互に考えを交流したりしながら、思考や理解を深めることのできる授業展開に努めます。

学習習慣

学習習慣の定着 A



- 発達段階に応じた「家庭学習の手引き」の作成や「家庭学習の友」を活用し、家庭との連携を密にして家庭学習や学習用具の点検・準備の習慣化を図ります。
- ファミ読デー、週一回の読書の日を通して、各学年に応じた家庭での課題を設定することで表現力を高め、創造力を豊かにしていき書く力を高めます。
- 引き続き、各学年の学年だよりに毎月1回「学力向上の取組」を掲載するとともに、「岩小っこ授業のルール」の徹底を図り、各学年の発達段階に応じた聞く力・話す力の育成に努めます。

わかりやすく教えてくれる A

- ICT機器等を用いて資料を効果的に活用したり、体験を重視したりする等、児童の興味関心を大切にし、主体的に学習に取り組める授業を展開します。
- 1時間の学習のめあてや流れを明確に示し、個に応じた指導を工夫します。また、めあての振り返りの時間を設け、学びの成果を実感し、次時への学びにつなげられるようにします。
- 可能な限り、複数教員での指導や通級指導教室での指導体制を充実させます。

基礎・基本定着への取組 A

- 思考の土台として、学年の発達段階や教科の特性に応じたノート作りを行い、「どのように学んできたか」等の学習過程が分かるノート作りへの意欲を高め、学習習慣の確立に努めます。
- 朝の活動を計算・漢字のスキルアップに活用したり、タブレットでの学習を進めたりし、継続して取り組むことで基礎学力の定着を図ります。
- 既習事項をまとめた学習カードや国語辞典を活用する等、発達段階やこの実態に応じた支援で基礎学力の定着を図ります。

指導方法の改善に努めている A

令和3年度 学校評価の結果 課題と改善策

信頼される学校づくり

開かれた学校

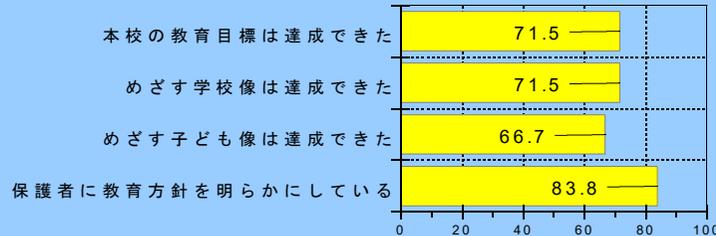
開かれた学校づくり A

- ◇学校は児童相談の機会を設けている 80.0
- ◇保護者や地域住民に対して、子どもの状況を知らせることができている 82.0
- ◇保護者や地域住民の意見を取り上げようとしている 75.1
- ◇保護者や地域との連携はうまくいっている 76.2

- ・保護者や地域の皆様のご意見に真摯に耳を傾け、教育方針や教育活動についてホームページや学校・学年だより等を通じて、分かりやすく積極的な情報発信を行います。
- ・学校、家庭、地域が一体となった特色ある教育活動を展開し、地域の教育力を活用した地域とともにある学校を推進します。
- ・学校経営課題について全職員で取り組み、改善に努めます。

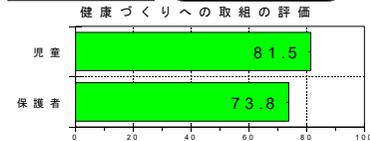
学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かであるとともに、人権感覚に優れ、力強く未来を切り拓いていく実践力のある児童を育てる。



「健やかな体」の育成

健康・体力 健康づくり A

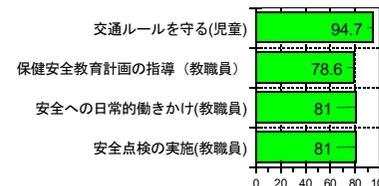


- ◇給食を残さず食べている 85.1
- ◇休み時間には、外で元気よく遊んでいる 91.5

- ・規則正しい食生活や生活習慣を定着させ、食育を通して好き嫌なく全部食べられるように啓発・指導をします。
- ・毎週木曜日「歩こうデー」による徒歩通学、外遊びを奨励し、運動習慣の定着と体力の向上を図ります。

安全・安心な学校づくり

安全・安心 安全・安心の取組 A



- ・毎月、学習環境の安全点検を実施し、不具合の早期発見と早期改善に努め、非常時に迅速な対応ができる体制を整えます。
- ・安全に関する学習を継続し、一人一人の安全に対する意識を高めます。

保護者・地域との連携

開かれた学校

PTA活動 A
園小中の連携 A
地域との連携 A

- ・参加しやすく、子どもの健やかな成長につながるPTA活動を推進します。
- ・中学校、こども園との連絡を密に行い連携を深め効果的な教育活動を展開します。・岩倉地域の特色を活かした教育活動を展開し、家庭や地域とともに子どもを育てます。

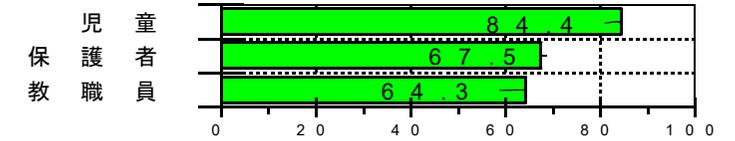
美馬市立岩倉小学校

「豊かな心」の育成

基本的な生活習慣

あいさつ・返事 B

あいさつ・返事の評価



- ・気持ちのよいあいさつや返事の仕方を示し、振り返りをさせることで意識づけを行い習慣化できるよう指導していきます。

いじめのない温かな人間関係

いじめのない学校づくりへの取組 A

- ◇学校へ行くのが楽しい。児童 89.2 保護者 81.7
- ◇学校には仲の良い友達がいる。 93.3
- ◇友だちのよいところを認め、思いやりの気持ちをもって生活できている。 86.3
- ◇学校には、つらいことがあるとき、声をかけてくれる人がいる。 87.1

- ・教育活動全体を通して、教職員と児童、児童相互の温かく豊かな人間関係を構築し、学校生活アンケートを活用し保護者との連絡を密にする等、家庭や地域との連携を図りながら、どんな理由があってもいじめは絶対許さないということを毅然とした態度で継続して指導します。

道徳教育

道徳教育の推進 B

- ◇道徳的価値を内面的に自覚できるような指導方法の工夫・改善に努めている。 71.5

人権教育・特別支援教育

人権教育・特別支援教育の推進 A

- ◇子どもの発達段階や生活背景をきちんと理解し、全教科・全領域で人権教育の推進に努めている。 78.6
- ◇差別や偏見のない学級集団づくりに努めている。 88.1
- ◇学習が遅れがちな子どもに、適切な支援をしている。 81.0

- ・友達や自分を大切に、互いに成長しようとする象徴の人権キャラクター「誠くんちゃん」を目標に、毎日自分の生活を振り返り、友達のいいところを見つけ、互いを認め合いながら自尊感情や他者を思いやる心情を育みます。
- ・教職員の人権感覚を一層磨き差別や偏見を見逃さず、一人一人の人権を大切に児童と集団を育てます。
- ・児童一人一人の特性を理解し教育的ニーズの把握に努め、一人一人の発達、個性に応じた適切な支援をしていきます。

生徒指導

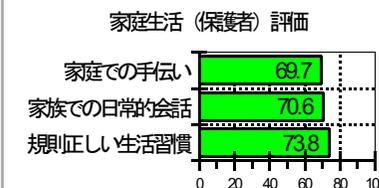
生徒指導の推進と充実 A

- ◇様々な問題行動が起きたとき、組織的に対応できる体制の整備 78.6
- ◇問題行動防止のための早期指導への学校全体での取組 83.4
- ◇生徒指導において、家庭・関係諸機関との連携 83.4

- ・問題行動の早期発見、解決に向け、家庭、地域、関連諸機関等との連携を密にし、組織的に対応できる体制を整え積極的に計画的な生徒指導に努めます。

家庭生活

家庭生活での取組 B



- ・生活科や家庭科等の学習を通して、家族の一員としての自覚を促していきます。
- ・「家庭学習の友」を活用し、規則正しい生活習慣が定着するよう、常時指導していきます。

